

AWS (Amazon Web Service) に加え、Microsoft Azure への接続に対応 プログラマブルコントローラ「FC6A 形 Plus」から Microsoft Azure にデータ送信が可能に

IDEC 株式会社（代表取締役会長兼社長：船木 俊之）は、2015 年から高性能なプログラマブルロジックコントローラ「FC6A 形 All-in-One CPU モジュール」の発売を開始し、2017 年には、さらに高性能・多機能な「FC6A 形 Plus CPU モジュール」を発売いたしました。高性能と手軽さを一台で実現する All-in-One タイプと、大型機械や小規模の生産ライン全体の制御可能にする Plus タイプをラインアップし、遠隔監視・操作をはじめとする IoT を手軽に実現できます。

近年 IoT の普及により、各種機器から集めたさまざまなデータをサーバーに保存し、そのデータを分析・活用する需要が高まっています。FC6A 形 Plus は、2020 年に MQTT (Message Queuing Telemetry Transport) 対応となり、汎用的な MQTT ブローカーや AWS (Amazon Web Service) への接続に対応しました。そして 2022 年 9 月 14 日（水）に予定しているソフトウェアバージョンアップにより、MQTT プロトコルによる、Microsoft Azure との接続に対応いたします。



プログラマブルコントローラ
FC6A 形 Plus

今回のバージョンアップにより、簡単な設定で Microsoft Azure IoT Hub に接続することができ、Azure をベースとしたさまざまなサービスとの連携も容易になります。Azure IoT Hub Device Provisioning Service (DPS) に対しても接続可能であり、多数のデバイスを効率よく管理できます。また、Azure IoT Central アプリケーションを活用すると、クラウド上で作成したダッシュボードに対して、簡単にデータ連携を行う事も可能となります。

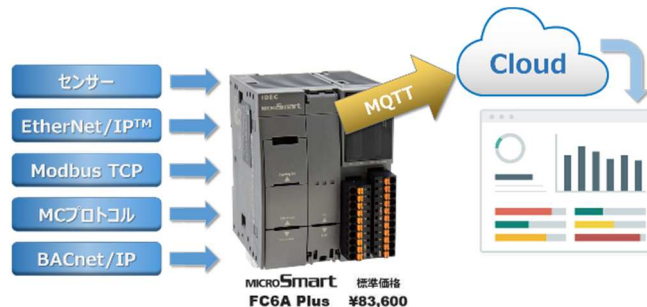
生産現場だけでなく、さまざまな機械・設備において FC6A 形 Plus を IoT コントローラとしてお使いいただくことにより、低コストで効率的なデータ収集が可能となります。これにより、傾向や状況をリアルタイムに把握することができ、業務の効率化や生産性向上に貢献いたします。

【これまでの課題】

- 通信機器や中間サーバーを設置すれば PLC のデータをデータ収集サーバーに集約することが可能だが、費用面、開発面において難易度が高く、簡単には導入できない。

【FC6A 形 Plus による解決案】

- MQTT 対応のため、PLC から直接クラウド等のデータ収集サーバーと通信することが可能。
- 主要なクラウドベンダーである AWS に加え、Microsoft Azure にも対応することで、さまざまな IoT サービスとの連携が可能。
- 制御とセンシング、通信を 1 台で行えるため、簡単に IoT 化の需要に対応。
- Modbus や EtherNet/IP 等の産業用通信プロトコルへの対応により、周辺装置の監視用データを収集可能。



以上

このリリースに関するお問い合わせ

IDEC 株式会社 経営戦略企画本部 コーポレートコミュニケーション室 元山理映子
(TEL) 06-6398-2505 (Email) rieko.motoyama@idec.com